



桐生ロータリークラブ週報

2006年

国際ロータリー第2840地区 2005-2006年度 国際ロータリーのテーマ



超我の奉仕

Service above self

R.I 会長 カール・ヴィルヘルム・ステンハマー

善意というものがないなら

ロータリークラブは唯の社交クラブだ。

職業は金儲けのためでしかなく、

社会奉仕というも施しにすぎず、

国際奉仕は外交以外の何ものでもない。

パストガバナー 前原勝樹

会長 館 盛治 幹事 川島 康雄

クラブ会報・広報委員会 木村 滋洸 藤井 征夫 佐々木 裕 吉野雅比古 石島 久司 大友 一之

2月20日号

第2556回例会

(2月13日(月) 第2例会)

1. 点鐘
2. ロータリーソング齊唱
3. 来訪者紹介
4. 出席100%表彰
5. 会長の時間

6. 幹事報告
7. 委員会報告
8. 卓話「俳句について」久保田 裕一君
9. 点鐘

ようこそビジター

く桐生南 R C く(次年度 群馬第2分区Aガバナー補佐)
大友 昭久君

く米山奨学生く

林 海軍君

出席100%表彰

牛脇 章君 19回



会長の時間

今週の報告は2月6日例会終了後、第8回定期理事会が行われました。その中で、今年の観桜会は3月27日に市民文化会館 レストラン「ピノキオ」にてPM6:30分より開催される事が承認されました。

2月8日には家族会役員会が開催されました。主たる議題は春の家族会旅行の件でした。4月12日(木)にキャッツシアターの劇団四季ミュージカル「キャッツ」の観劇をメインに、銀座の散策と相田みつを美術館を加え計画されています。ご家族皆様の多数ご参加をお待ちしています。

2月9日には会員増強委員会の家庭集会が開催されました。蓮委員長はじめ重鎮の矢野昭委員、若手の坂入・野間委員と私と幹事にて、推薦をいただいている数名の候補者への勧誘を進める事で、具体的に話し合い実行に移し、拡大に努力することを決定しました。会員皆様のご協力をお願い致します。以

上が報告です。

“言わぬ損より言った損” 吉永みち子氏

闇を照らした「打ち上げ花火」ホリエモン衝撃逮捕。連日のあふれかえるホリエモン報道で食傷気味でしようがやはりちょっと言いたい。何だってホリエモン逮捕、テレビのゴールデン、プライムタイムの番組を3時間もぶっ飛ばすくらいの出来事だったのだから。西武の堤オーナー逮捕の時は、速報テロップぐらいだったのに。それでもホリエモンを持ち上げていたくせに、呼び方がいきなり堀江容疑者だものね。何か午前0時を過ぎたシンデレラとカボチャの馬車のような感じだった。ところで、ライブドアが粉飾に満ちて、敵を前に身体を膨らませるフグちようちんのようだったと、今さらのように指摘されているけれど、素人はとっくにうさんくささは感じていた。でも、マンションの偽装は生活と命を直撃するが、ライブドアの偽計は投資家でもない限り、遠い世界のこと。金がすべてという体质が問題だというなら効率第一で大事故を起こす会社だって同じ体质だし日本中、実は金がすべて状態に染まってしまっている。やり方が悪いといっても、政府与党の立派な幹事長様が「息子だ」と応援し、こともあろうに金融担当大臣までが支持していたわけだし…今さら何よって思う。ライブドアのやり方が法に触れているなら法が裁かれるべきで、弁護する気もないが、

例会場 桐生俱楽部 TEL45-1513 例会日 毎月曜日 12:30PM

ホームページ <http://www.Kiryu.co.jp/Kiryurc/>

メール Kiryu-rc@ktv.ne.jp

ホリエモンという存在は実に面白かったと思っている。まるで打ち上げ花火のように、自らいろいろなところでドガント打ち上がって、その周辺の間にうごめく者やさびついた制度、おそまつな実態などを照らし出した。プロ野球界参入、ニッポン放送株取得とフジテレビとの業務提携、衆院選への立候補など、こんなことになっていたのか！何考えてたんだか！そんなことまでやるのか！と、今の日本の実態があぶりだされてきた。そして、今回は東証の取引全面停止の大騒動を引き起こし、システムのお粗末さを内外に見せてくれた。ライブドアの経団連入りに関して、経団連会長様の「ミスっちゃった」発言まで飛び出した。ほとんどわれわれと同じノリじゃん！とかわいいオジサン的親近感を持った人もいるみたいだが、毅然としたオジサンでいてくれないと困る。ミスっちゃった発言のフォローのつもりか、全会一致だったとそろいもそろって見抜けなかつことまで暴露、経団連のおえらい方々って意外と情報に疎いとびっくり。さらに「2週間前に決めたので、2週間待ってたらミスらなかつた。」と泣きまで入れちゃつた。「負けるのわかつてたら買わなかつた」と嘆く競馬ファンみたいな発言している場合じゃないでしょ。ホリエモンが自ら燃え尽きての最後の大花火。思わず見せた弱みは、速攻で補強にからなければ、ホリエモンも浮かばれない。

幹事報告

- 桐生南、桐生赤城、足利の各RCより週報到着。
- 例会終了後、次年度理事役員予定者会議が開催されますので、関係役員の皆様は出席の程よろしくお願い致します。

委員会報告

出席委員会

本日の出席(平成18年2月13日)：総員65名・出席44名
平成18年1月30日例会修正出席率：78.4%

ニコニコボックス

桐生南RC大友昭久君…20年振りのメークです／森喜美男君・館盛治君・川島康雄君・金子篤郎君…次年度ガバナー補佐大友昭久さんをお迎えして／牛腸章君…久し振りに大友さんの元気そうな顔を拝見しました／藤江篤君…本日は、久保田会員に卓話をしていただき感謝しております。／牛腸章君…出席100%／蓮直孝君…先日の会員増強委員会でお釣が出ましたので／藤井征夫君…明日はバレンタインデー、送って下さる方が年々少くなりさみしい限りです。／松島宏明君…写真を戴きました

卓話



「俳句について」

久保田 裕一君

1. 俳句の誕生

俳句は詩歌であり、その詩歌の歴史を見ると、必ず万葉集がある。これが日本最古の歌集である。仁徳天皇皇后の歌と言われるものから、淳仁天皇時代(759年)の歌まで400年間の長歌、旋頭歌、仏足石歌、短歌を集めたものである。長歌は5・7・5・7・5・7・7・7、

短歌は5・7・5・7・7で和歌といわれている。連歌は5・7・5と7・7を二人で続けて36句あり最後の句を挙句と言い、ここから挙句の果という言葉が生まれました。連歌は室町時代に盛んとなり、俳階連歌となり、初めの5・7・5を発句と云い、これが俳句となつたのであります。しかし俳句連歌は次第に品がなくなりましたが、芭蕉(元禄時代)により一気に文学的格調高い物になりました。

2. 俳句の作り方

俳句には主に三つの要素が必要です。① 五・七・五の定型 ② 季語(季題)を入れる ③ 切れ字(や、かな、けり)の使い方。これ等が揃つて始めて句となります。そして、見たり、聞いたり、経験した事をわかり易く、省略して、人に共感を与える事である。例外として

“裂帛の気合みなぎり鏡餅” 広人

3. 過去の俳人達とその句

- 芭蕉(元禄時代) “古池や蛙とび込む水の音” “五月雨をあつめて早し最上川” “旅に病んで夢は枯野をかけめぐる”(死ぬ前)
弟子に去来、丈草、其角、嵐雪等が居ました。芭蕉の死後出た人は
- 蕉村(安永、天時時代、芭蕉後70年) “さみだれや大河を前に家二軒”
- 一茶(文化文政時代) “これがまあつひの棲家が雪五尺” “やれ打つな蠅が手をする足をする”
- 正岡子規(慶応3年—明治36年) 近代俳句の革新者で、アララギ派から後にホトトギス派を作りました。松山に生れ、35才で死す。“柿食えば鐘が鳴るなり法隆寺” “をとひのへちまの水も取らざりき”(死ぬ前)
弟子に高浜虚子、河東碧五桐等が居ました。
- 高浜虚子(ホトトギス派、花鳥諷詠) “遠山に日の当りたる枯野かな” “大寒の埃の如く死ぬる”
弟子に4Sと呼ばれた、水原秋桜子、阿波野青畝、山口誓子、高野素十の他、石田波郷、中村草田男、加藤楸邨などがおりました。
- ホトトギス派の現在
正岡子規ー弟子 高浜虚子ー子 高浜年尾一子 稲畠汀子ー子 稲畠高太郎、

4. 川柳との違い

自然即ち季語は関係なく、人生の営を歌つたものであり、明確に5・7・5にまとめ上げる。天明年間浅草の無名庵綠亭が川柳と号して起つたもの。古くは江戸川柳といわれたものから現在色々の分野の川柳がある。一方享保三年浅草新堀端生れの柄井川柳といいう一派から川柳が盛んになったという説もある。川柳には柳聖というものはないが、俳句の方は俳聖というものはある。川柳は名を残すものではない、花火の如く消えるものである。

時事川柳をあげてみると

- 九条と富士が日本にある誇り
- こうのとり改革案を持ち越しに(広人)
- 昨年卓話で廓の話をしましたが、川柳の種になる事が多かったです。
- 死ぬ死ぬと禿は婆を起こしに来(広人)
禿：遊女に使用される10才位の少女
- 新造を冷水が来てあげるなり
新造：客をとれる様になった少女 冷や水：老人の冷や水(老人の事) あげる：水揚、遊妓が始めて客をとる事
- 突き出しがタコでお職の上へのし
突出し：禿時代を通らず素人から遊女になった子お職：最高の売れつ妓